

❖団体名	(特活) ハンガー・フリー・ワールド
❖ASC2012実施日	2013年11月29日

❖セルフチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	15	14	1
事業実施基準	11	9	2
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
合計	41	38	3

❖アカウントビリティへの考え方

ステークホルダーに対し、組織の取り組むイシューや活動を分かりやすく説明しています。また、組織の実寸代の姿を示すことがアカウントビリティの大切な視点と捉え、活動や運営の問題や課題について説明するよう心がけています。加えて、職員やインターン、ボランティアの労働（活動）環境の整備や能力強化についてもアカウントビリティに必要な要素であることから、関係者の意見を反映させながら、各種取り組みを行っています。

❖アカウントビリティ向上の取り組み紹介

1. 情報公開
2. ドナーへの発行物
3. 労務・活動環境の改善

❖上記取り組みの実施状況

1. 情報公開

ウェブサイトでは組織が取り組むイシューである飢餓や食料問題を分かりやすく説明すること、及び国内外の活動の成果を可能な限りタイムリーに伝えることを心がけています。加えて、運営についても理事会議事録や組織評価について掲載。また過去の不正流用案件にも触れ、組織の問題点やその要因、改善策を詳しく公開し、第三者からのコメントも掲載しています。

>> 理事会議事録

<http://www.hungerfree.net/about/rijikai/index.html>

>> 組織評価

<http://www.hungerfree.net/about/hyouka/index.html>

>> 適正化施策

<http://www.hungerfree.net/about/reorgan/info060201.html>

2. ドナーへの発行物

情報誌、ポストカードニュース、年次報告書を定期的に発行。活動の成果だけでなく、課題や活動の背景についても伝えています。また事務局がどのような職員や事務所で運営されているかを紹介する瓦版的な事務局便りも発行しています。2014年度以降には、発行物全般をドナーのニーズに一層沿った内容にするためのアンケートを実施予定です。